

その他の町行政



諏訪本 光 議員

Q “歴史的災害” 本年度予算の見直しが必要では

A 〈町長〉 再検討は必要と考え、一部事業を廃止、延期。グラウンドゴルフ場の整備は、課題整理後に。

〔Q1〕 町民グラウンドの工法変更や災害の復旧・復興に前向きに取り組んでおられ良いことだ。グラウンドゴルフ場の整備は、課題整理後に検討することだが、具体的な説明を。

〔A1〕 整備方針に変更はないが、様々な意見があり、整備・運営上の課題等を明確にしたい。また、最優先する防災・減災対策の進捗状況を見て、どのように進めるか検討したい。



ピンチをチャンスに!

〔Q2〕 この度の災害での交通渋滞の反省から、熊野トンネルのETC化や第二トンネル、県道矢野安浦線の国道化など、都市間交通ネットワークの整備の検討が必要だ。県の検討会議に依存せず、熊野町としての考え方を打ち発信するチャンスだ。

〔A2〕 大きな課題であることは理解している。トンネルも二本あった方が良いが、まずは県道矢野安浦線の現計画の早い達成を目指したい。県や国へも要望している。

今後の所管事務調査項目について協議

～総務厚生委員会～

9月14日に総務厚生委員会を開催し、7月豪雨災害を受けて、委員会として「今後の所管事務調査項目」をどうするのかについて協議を行いました。



▲「熊野町観光交流拠点整備」予定地周辺の現地視察

○現在の調査項目について 平成30年度の調査項目である「熊野町観光交流拠点整備構想計画について」及び「健康づくり・介護予防事業について」の2項目については、このまま取り組みを進め、今後の方針や災害前後における事業の状況を確認することにしました。

○豪雨災害を受けての調査項目について 新たな調査項目を設けるのではなく、上記の年度当初の調査項目について、災害を受けた状況の確認等を行うことにしました。

協議後、「熊野町観光交流拠点整備」の予定地である筆の里工房周辺の現地視察を行い、被害状況について確認しました。

豪雨災害により予定地が被害を受けた、「熊野町観光交流拠点整備構想計画」の今後の動向について、委員会としても注視し、町の重要な観光拠点づくりとなるよう調査・研究に取り組んでいきます。

豪雨災害を受けての課題等を協議

～文教委員会～

9月18日に文教委員会を開催し、7月豪雨災害後の災害対策に向けての気づきや問題点、課題等について協議を行い、委員会としての検討課題等を抽出しました。

- 抽出した検討課題(抜粋)
・被災経験後のケア(心・勉強道具などの物資)
・児童生徒の避難誘導
・全校に対する防災教育
・要支援児童への配慮
・避難所での学習指導の内容とその充実
・各施設の避難訓練
・クラブ活動や登下校時等に被災した場合の対応(防災・減災)
・施設の危険箇所の点検整備(部活動の部品等も含む)



▲机上に扇風機を置いて部活に励む生徒

協議後、熊野中学校を訪問し、クラブ活動の現地視察を行いました。残暑の中、子どもたちが真剣に活動している姿を見ることができましたが、熱中症対策の必要性を再認識しました。児童生徒の安全を守るために、委員会としても猛暑への対策として空調設備の早期設置に向け取り組んでいきます。

豪雨災害からの復旧・復興においても、当委員会の所管事務である、学校教育や社会教育の分野における課題等について、調査・研究を行います。

平成29年度熊野町上水道事業会計決算を認定しました

第4回定例会において決算特別委員会(藤本委員長、竹爪副委員長)に付託された決算認定案について、慎重に審議した結果、全会一致で「認定すべきもの」と決定しました。その後、本会議で委員長が審査内容を報告し、原案のとおり認定しました。



決算の概要

- 収益的収入及び支出(水をつくり、届けるなどの収支)の決算額と増減の主要因
収入: 5億3,073万6,086円(対前年度比17万5,910円の増、県道矢野安浦線の拡幅工事に伴う受託工事収益の増加)
支出: 4億7,637万5,571円(対前年度比1,145万1,685円の増、県道矢野安浦線の拡幅工事に伴う工事費や固定資産の除却に伴う資産減耗費の増額)
資本的収入及び支出(配水管整備や改築更新などの収支)の決算額と増減の主要因
収入: 1,707万6,000円(対前年度比1,020万3,680円の減、開発費収入の皆減)
支出: 6,972万5,293円(対前年度比1,292万2,407円の減、開発関連工事の皆減)

決算特別委員会における主な質疑

- Q 呉地浄水場長尾・八幡の動力費の額が大きい。省エネ対応の機器に更新して経費節減を図っては。
A この先、更新計画をたてる中で、新機器等での経費節減についても反映していく。
Q 土砂災害の被害が大きかった安芸区畑賀の浄水場から配水を受けている熊野町への影響は。
A 畑賀にある県水の浄水場に被害はなかった。この浄水場から初神の県配水池に配水されるが、この施設も土石流等による被害はなかった。